

コアラ通信

スリーデーマーチに出店 わくわくテント 松山第一小学校

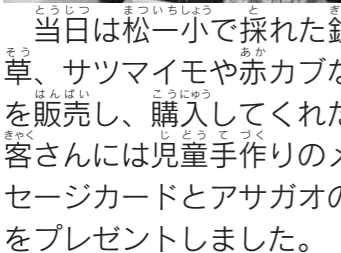


11月2日(月)・3日(祝)、松山第一小学校の児童がわくわくテントを出店しました。スリーデーマーチの中央会場で野菜の販売や折り紙などの体験コーナーを設け、スリーデーマーチの参加者をもてなしました。

10月中旬から、4年生以上の希望者が実行委員となって準備を進めてきました。実行委員以外の子どもたちも学年ごとにお店の飾り



つけと商品となる銀杏の袋づめ、習字や折り紙の展示品などをつくって後押しします。お店には、子どもたちが工夫を凝らして習字やけん玉、折り紙などの体験コーナーをつくりました。「世界中から来た人に日本の遊びを教えたい」と外国の方をはじめ、スリーデーマーチ参加者との交流を楽しみにしていました。



当日は松一小で採れた銀杏や花壇で育てた子宝草、サツマイモや赤カブなどを販売し、購入してくれたお客さんには児童手作りのメッセージカードとアサガオの種をプレゼントしました。



桜山に響く10周年を祝うハーモニー 桜山小学校



11月13日(金)、桜山小学校で創立10周年記念行事が行われました。

10周年を記念して児童が考えたマスコットキャラクター「さくらんちゃん」が見守る中、児童代表の藤波さんが「喜びの気持ちでいっぱいです。これからも桜山小学校がすばらしい学校になるようにがんばっていきます」と堂々とあいさつしました。

式の中ではスライドショーが流れ今年の雪の入学式の様子を見て、思い出話に花が咲いたり、全体合唱で「世界の



まん中で」という曲を歌ったり、高坂丘陵太鼓の演奏が行われたりしました。合唱では、代表の児童がステージにあがって、手話を交えた振付を披露すると、体育館で歌う子どもたちも振付を交えながら歌い、会場が一体となって見事なハーモニーを奏でていました。

また、丘陵太鼓では6年生が太鼓の音に合わせてリコーダーを吹き一緒に演奏もしました。太鼓の音とリコーダーの音、会場の手拍子がひとつになり、桜山小学校の創立10周年を盛大に祝いました。



野本小学校 校長 鈴木 克俊



「地域と一体となつて育つ 野本っ子たち」

本年4月、校長として滑川町立宮前小学校から着任しました。久しぶりの東松山市での勤務になります。

野本小学校に勤務してみると地域とともに歩み続けている学校だと強く感じました。実際に3世代を超えて、この野本小で学んでいる家庭もたくさんあります。ですから、「私たちの野本小」を預かる責任者として身の引き締まる思いを感じています。日々、登下校の際に見守っていただいている方がたくさんいること、様々な学校行事に寄せられる協力の多さ、資源

回収への協力体制など、実に様々な場面で地域の皆様から寄せられる思いや力を感じます。このような力強い環境に囲まれて、現在、336人の児童が在籍しています。教職員一同、一人ひとりが持つ個性をしっかりと伸ばせるように実践してまいりますので、元氣あふれる野本っ子や本校へのさらなるお力添えをお願い申し上げます。

この原稿を作成し始めたと同時にビッグニュースが飛び込んできました。本校卒業生の梶田隆章さんのノーベル賞受賞です。児童と共に喜びを大いに分かち合いました。本当におめでたうございます。素晴らしい先輩を見習って、大きく成長して欲しいと思います。

私は、教育や学校には人を幸せにする大切な役割があると思っています。そのため、全てのの子の幸せにつながる活動を展開しなくてはなりません。みんなが幸福を実感できる社会づくりと人づくりの基礎を担っているのです。そんな思いを持って、地域の皆様とともに野本小づくりに励んでまいります。

座右の銘

「がんばりすぎない努力」

次回(2月号)は、北中学校の佐藤校長先生の予定です。

教育だより

子どもと遊び

木々の葉も落ち、すっかり寒くなりました。それでも、小学校の校庭では元気に遊ぶ子どもたちの姿があります。今回は「子どもと遊び」について考えてみたいと思います。

自然の中で感性を育む

虫を捕ったり、花の蜜を吸ったり、草笛、草相撲、笹舟作りなど自然の中には子どもを夢中にさせる立派なおもちゃがあります。泥団子の手触りや、草のにおいなど、自然とふれあう遊びは、子どもの五感を刺激し、感性を育みます。

身体の使い方を学ぶ

走る、投げる、よじ登る、跳び降りる：子どもたちの大好きな遊びは、楽しみながら自然と身体の使用方を学ぶことができるようになっていきます。失敗しても何度も挑戦し、時には転んですりむきながら、身体のコントロールの仕方を覚えていくのです。

問合せ 総合教育センター
25-10800

想像力を育む

一人遊びのときも、仲間と遊ぶときも、子どもたちは想像力を働かせて遊んでいます。ままごとや戦いごっこなどを通して育った想像力は、新しいものを創造する源になると同時に人の気持ちを理解し、思いやる心の元にもなります。

社会性を育む

友だちと遊ぶ中で、上手に自己主張ができるようになったり、相手のことを思いやる気持ちが育つたりします。けんかや意地悪されたことから子どもは何かを学んでいきます。大勢で遊ぶ場が少なくなっている昨今ですが、この経験がないと大きくなったときに上手に人と関われなくなってしまう。

子どもは遊びを通して、実に多くのことを学んでいきます。家族と一緒に遊んだ楽しい思い出も心の栄養になります。たまにはテレビを消して家族みんなでトランプなどで遊んでみたらいいでしょう。
(常任相談員 大久保敦子)